



松原 英臣

- ①長良川の流下する土砂を年間通して（毎月のデータを）正確にとる必要がある。1年で流木が1.5mも埋もれるという報告があったが、どの地点での話か、河床がどのように変化するのが分からない。この話は1年で大量の土砂が川底に堆積することを示唆している。河床地形からもマウンドがどのように形成されるが分かってくる。
- ②平成6年以降に水資源開発公団が実施された「渚プラン」の内容と結果について、説明が欲しい。
- ③塩害について。委員の話で河口堰が建設される以前の農業は遡上する塩水がいつも地下水として存在していた、農地の地下水は元々塩分を含んでいたとする話があった。地盤沈下や台風によって一気に海水に浸ることと違って、地下水位が上昇することで農作物にどんな影響が出るかという話。今までこうした研究は恐らくなかったのではないかと思う。
今回のケースでは堰建設以前の経験や体験をよく調査した上で、新たに実績データが得られれば成果も大きいと思う。